

令和 9 年度 徳山工業高等専門学校専攻科 学生 2 次募集要項

1. 実施する専攻及び募集人員

機械制御工学専攻 若干名

2. 選抜日程

	願書受付期間	選抜期日	合格者発表
2 次 募 集	令和 8 年10月21日（水）～10月23日（金）	11月18日（水）	11月25日（水）

令和 9 年度入学者選抜に出願した者について、次のいずれかに当てはまる場合は、追試験を受験することができます。

- (1) 学校保健安全法施行規則（昭和三十三年文部省令第十八号）第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、各選抜の本試験を受験できない者で、本試験当日の集合時間までに本校に申し出た上で、追試験の受験意志を表明した者。
- (2) (1)を除く、受験者自身の責めに帰することができない理由（月経随伴症状等を含む）で本試験を受験できず、本試験当日の集合時間までに本校に申し出た上で、追試験の受験意志を表明し、校長が認めた者。

なお、追試験の受験を希望する場合は、医療機関等又は出身学校等の長による証明書等を必ず当日まで、もしくは後日提出してください。

追試験の受験にあたっては、再度出願や検定料を納める必要はありません。

	追試験選抜期日	追試験合格者発表
2 次募集	別途通知	別途通知

3. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

本校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に基づき、障害等による支援ニーズのある者に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課までご相談ください。配慮内容の調整や準備に時間を要する場合がありますため、相談時期によっては希望する配慮に対応できないことがあります。安心して受験していただくため、早期のご相談をお願いいたします。

必要に応じて、志願者、志願者の保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)高等専門学校、短期大学、専修学校入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※ 根拠資料に関しては提出の可否に関しても本校学生課までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、本校で確認します。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

（お願い）

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。選抜後、または入学後に合理的配慮に関して初めて相談する場合は、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談は、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

相談窓口 学生課教務係 TEL (0834)29-6233
FAX (0834)29-6161 E-mail kyoumu@tokuyama.ac.jp

4. 出願資格

次の(1)及び(2)の要件を満たす者

(1) 次の (ア) から (キ) までのいずれかに該当する者

(ア) 高等専門学校を卒業した者又は令和9年3月卒業見込みの者

(イ) 短期大学を卒業した者又は令和9年3月卒業見込みの者

(ウ) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者又は令和9年3月までに同要件を満たす見込みの者

(エ) 外国において学校教育における14年の課程を修了した者

(オ) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国における14年の課程を修了した者

(カ) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(キ) その他本校において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(2) TOEICスコア350以上を取得した者

※以下のいずれかに該当する者は、各在籍校で修得した科目により、専攻科修了後の学位（学士（工学））の取得要件及び日本技術者教育認定機構（JABEE）認定の本校「設計情報工学」プログラム修了要件を充足できるか確認しますので、願書受付開始日の2週間前までに、本校学生課教務係に相談してください。

- ・本校本科に令和4年4月より前に入学した者
- ・中学校卒業以降に本校以外の教育機関での学習履歴を有する者

5. 入学者選抜の基本方針（アドミSSIONポリシー）

本校のアドミSSIONポリシーは、ディプロマポリシーに基づき、次のような能力と意欲を持った学生を入学させるためのものです。具体的には次のような人を求めています。

<専攻科入学者に求める学生像>

専攻科では、次のような人を広く求めています。

- ・複合分野の基礎となる基本的素養が身についている人
- ・コミュニケーション能力や倫理的判断能力が身についている人
- ・実験・演習や卒業研究に意欲をもって取り組んでいる人
- ・ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えている人

本校では、入学者の選抜に関して以下の方針を定めています。

<専攻科入学者選抜の基本方針>

専攻科入学者の選抜は、「学校長の推薦による選抜」、「学力検査による選抜」および「社会人特別選抜」の三つの方法で行います。

- ・「学校長の推薦による選抜」においては、在籍学校長が学力・人物ともに優れていると認め推薦した者に対して、卒業研究計画書に基づく面接（実験・演習や卒業研究の取り組みを評価）及び願書、推薦書などを参考にした面接（コミュニケーション能力、ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価）の結果並びに出願書類をもとに、総合的に判定します。
- ・「学力検査による選抜」においては、数学、英語及び専門科目の得点（複合分野の基礎となる基本的素養を評価）、面接（コミュニケーション能力、ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価）の結果並びに出願書類をもとに、総合判定により行います。英語はTOEICスコアを本校専攻科で定めた基準により換算します。また専門科目は口頭試問で実施します。なお、専門科目は外部資格による免除制度があります。
- ・「社会人特別選抜」においては、所属する機関の長が学力・人物ともに優れていると認め推薦した者に対して、面接（コミュニケーション能力、ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価）の結果及び出願書類をもとに、総合判定により行います。

本校の卒業・修了認定の基本方針（ディプロマポリシー）は、本校ホームページの「徳山高専 三つのポリシー」（<https://www.tokuyama.ac.jp/school/whats/policy.html>）をご覧ください。

6. 願書受付

受付期間 令和8年10月21日（水）から10月23日（金）まで

受付時間 午前9時から午後4時30分まで

※ただし、土・日・祝日は除きます。また、郵送の場合も同期間内に必着とします。

受付場所 〒745-8585 周南市学園台 徳山工業高等専門学校 学生課教務係

7. 出願手続

入学志願者は、次の書類等をそろえ、本校学生課教務係に提出してください。

1	入学願書	本校所定の様式に必要事項を記入すること。 4. 選抜方法（2）の実用英検、技術英検（旧工業英検）の資格を英語得点とする場合又は（3）の専門科目口頭試問の免除を希望する場合は、証明できる書類を添付すること。
2	受験票 写真票	本校所定の様式に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付すること。写真は、上半身・無帽・正面向き（縦4cm×横3cm）で出願前3か月以内に撮影したもの
3	卒業（修了）証明書 又は卒業（修了）見込み証明書	当該学校の用紙により、当該学校長が作成したもの 本校を卒業した者及び卒業見込みの者は不要とする。
4	成績証明書	当該学校の用紙により、当該学校長が作成したもの
5	TOEIC スコアシート	TOEIC スコアシートをコピーしたもの（公開テスト、IP テストいずれでも可）
6	検定料	16,500 円 次の口座に振り込み、「振込金受取書」を「1 入学願書」の裏面に貼付してください。 振込先銀行 西京銀行 本店営業部 受取人口座 普通 2 0 3 2 6 6 8 受取人名 ドク) コクリツコウトウセンモンガツコウキコウホンブ 独) 国立高等専門学校機構本部 依頼人氏名の前には「専攻科2次」を付けてください。 例) センコウカニジ シュウナン ハナコ 専攻科2次 周南 花子 ゆうちょ銀行から振り込む場合は6頁の注意をご覧ください。
7	受験票 送付用封筒(長形 3号)	受験票の郵送を希望する者は、入学志願者の住所（郵便番号を記入し、自宅外の者は〇〇方等を記入すること。）及び氏名を記入し、簡易書留料郵便切手（460 円）を貼付すること（ただし、本校卒業見込みの者は不要）。
8	その他	外国人は、市区町村の発行する住民票（コピー不可。在留資格等の記載必要。ただし、個人番号（マイナンバー）の記載のないもの）、旅券（パスポート）（コピー可。ただし、在留資格・期間の記載されたページ必要）又は在留カード（コピー可）を提出すること。

[出願に関する注意事項]

- (1) 出願書類に不備があるものは受け付けません。
- (2) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- (3) 郵送する場合は書留郵便とし、封筒表面に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。
- (4) 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を(二重取消)線で抹消し、押印のうえ、訂正事項を記入してください。
- (5) 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- (6) 受理した書類及び納付した検定料は返還しません。ただし、検定料については、次の場合は申し出により返還しますので、提出先に速やかにご連絡ください。
 - (ア) 検定料を納付したが出願しなかった、又は出願書類が受理されなかった場合
 - (イ) 検定料を重複して納付した場合
- (7) 出願書類は、次の Web ページから様式を入手し、作成してください。
徳山高専トップ (<http://www.tokuyama.ac.jp>) > 入試情報 > 専攻科入試案内 > 出願書類
又は、直接 URL (<http://www.tokuyama.ac.jp/exam/senkouka/shiryou.html>)
- (8) これまでに専攻科入学選抜を受検した者においても、再度出願手続きを行ってください。
- (9) 出願書類に記載されている情報及び選抜に用いた検査成績・評価といった入学選抜を通じて取得した個人情報、入学選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。
 - (ア) 入学後の教育・指導
 - (イ) 入学料、授業料の免除申請の審査
 - (ウ) 奨学金申請の審査
 - (エ) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学選抜制度の改善のための調査・研究
 - (オ) 同窓会・後援会等の案内
- (10) 特別研究指導教員は希望どおりにならない場合があります。

8. 選抜方法

入学者の選抜は、以下に示す一定の基準を満足した者を対象とし、数学、英語及び専門科目の得点、面接の結果並びに出願書類をもとに、総合判定により行います。

- ・ 数学：30点以上
- ・ 英語：50点（TOEICスコア350）以上
- ・ 専門科目：120点以上
- ・ 以上3つの評価の合計点：240点以上

(1) 数学の評価は、学力検査（検査時間60分、3専攻共通問題、100点満点）によるものとします。

(2) 英語の評価は、次のとおりTOEICスコアによるものとします。

出願時に提出されたTOEICスコアシート（公開テスト、IPテストいずれでも可）により、取得スコアを次の換算式に基づき100点満点に換算し、英語の得点とします（小数点以下切り上げ）。

- ・ TOEICスコア350以上470未満 英語得点 = $50 + (\text{スコア} - 350) \times 3 \div 12$
- ・ TOEICスコア470以上 英語得点 = $80 + (\text{スコア} - 490) \div 25$

なお、実用英検2級以上、技術英検準プロフェッショナル（旧工業英検2級）以上の資格を有する者の英語得点は、TOEICスコアにかかわらず80点とすることができます。（入学願書に証明できる書類を添付してください。）

(3) 専門科目の評価は、口頭試問（検査時間15分程度、合計200点満点）によるものとします。

2分野から1分野を事前を選択（入学願書にて登録）します。（(5) 出題科目の範囲等 参照）

適正かつ公平公正な試験実施のため、口頭試問の様子を録画します。録画した映像や音声を選抜以外の目的で使用することはありません。

専門科目口頭試問には免除制度があります。次表に掲げる入学志願者は、免除を希望することができます。入学願書の所定の欄に専門科目口頭試問の免除希望の有無を記載してください。（**入学願書に証明できる書類を添付してください。**）

	専門科目口頭試問の免除を希望することができる者	専門科目の得点
機械制御工学専攻	機械設計技術者3級、第三種電気主任技術者試験において理論、電力、機械のうち2科目以上の科目に合格し科目合格留保者である者、To-Beエンジニア試験(旧検定)でスタンダード又はアドバンスト(旧Cランク・3級以上)の認定を受けた者、又は本校が同等以上と認める資格を有する者※	160点

※本校が同等以上と認める資格試験については、事前に本校学生課教務係に相談してください。

(4) 選抜日 令和8年11月18日（水）

※本校が指定する時間までに指定の場所に集合してください。

(5) 出題科目の範囲等

	科目	出題範囲等
共通	数学	微積分、常微分方程式、線形代数
専 門 科 目		
機械制御工学専攻	分野	次の2分野から1分野を事前を選択する（入学願書にて登録する）こと。
	機械系	材料力学（引張・圧縮、曲げ、ねじり）、 水力学（流体の静力学、流体の運動、管内の流れ）、 熱力学（状態方程式、熱力学第一法則・第二法則、サイクル）
	電気系	電磁気学（電界、静電エネルギー、磁界、磁界エネルギー）、 電気回路（直流回路、交流回路、三相交流回路、過渡現象）、 電子回路（組み合わせ回路、順序回路、オペアンプ）

(6) 選抜場所 徳山工業高等専門学校

9. 合格者発表

令和8年11月25日（水） 午前10時

本校に掲示するとともに、在籍学校長を経て、合格者に対し合格通知書を送付します。

出願状況及び合格者は、次のWebページで公開します。電話等による問い合わせには応じません。

(http://www.tokuyama.ac.jp/news_exam/index.html)

10. 入試成績の開示について

開示を希望する者は、入試成績開示申請書（11 月中旬以降本校 Web ページに掲載します。）に必要事項を記入のうえ、受験票（コピー不可）を添えて学生課窓口又は郵送で申請してください。なお、開示は、受験者本人からの申請に限ります。詳細は本校 Web ページを参照してください。

11. 入学手続

合格者あてに令和 9 年 2 月上旬に別途通知します。

12. その他の注意事項

入学願書提出後に、住所（郵便受取先）を変更したときは、ただちに、本校学生課教務係に届け出てください。選抜当日、「受験票」は必ず携行してください。

13. 2 次募集に関する問い合わせ先

〒745－8585 山口県周南市学園台
徳山工業高等専門学校 学生課教務係
電話 （0834）29-6233

特別研究を担当する教員名及び研究テーマ（機械制御工学専攻）

教 授	張間 貴史	専攻の区分：機械工学（エネルギー系）
研究テーマ：三次元自由噴流の操作に関する研究		
教 授	片山 光亮	専攻の区分：電気電子工学（計測制御系）
研究テーマ：通信の高度化に関する研究		
教 授	福田 明	専攻の区分：機械工学（材料系）
研究テーマ：精密加工に関する研究		
教 授	三浦 靖一郎	専攻の区分：電気電子工学（エネルギー系）
研究テーマ：ICT を用いた基礎物理学分野に関する研究		
准教授	石田 浩一	専攻の区分：電気電子工学（計測制御系）
研究テーマ：うず電流応用技術に関する研究		
准教授	飛車 来人	専攻の区分：電気電子工学（数理工学系）
研究テーマ：マクスウェル方程式の数値解析		
准教授	坪郷 浩一	専攻の区分：機械工学（エネルギー系）
研究テーマ：数値流体力学に関する研究		
准教授	垣内田 翔子	専攻の区分：電気電子工学（計測制御系）
研究テーマ：生体運動制御に関する研究		
准教授	池田 将晃	専攻の区分：電気電子工学（計測制御系）
研究テーマ：生物模倣型ロボットの開発に関する研究		

入学検定料をゆうちょ銀行から振り込む場合の注意点

入学検定料はゆうちょ銀行からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』又は『キャッシュカード』が必要です。

2) 振込後は「振込依頼書（兼振替払請求書〔電信扱い〕（お客さま控）」を受領し、入学願書の裏面に貼付してください。

自然災害や感染症流行等の非常時の対応について

自然災害や感染症流行等の非常時の状況によっては、各選抜において、その実施方法を変更する場合があります。

変更があった場合には、随時本校ホームページに掲載しますので、志願者におかれては、最新情報の確認に努めてください。

なお、令和9年度専攻科入学選抜に出願した者について、p.1「2 選抜日程」の(1)、(2)の理由により、各選抜の本試験を受験できない場合は、追試験を受験することができます。追試験の実施については、「2 選抜日程」を確認してください。